

## 横浜ゴム・平塚製造所の「人づくり研修」

～ モノづくりを支える技能職共通研修 ～

第 119 回教育研究会(平成 20 年 3 月 14 日開催)にてゴム業界で成長をし続けている横浜ゴム・平塚製造所の『人づくり研修』の取組みについて同製造所 MB 生産技術部研修担当中原元氏に事例をご発表いただいた。主な内容は次のとおり。

### 心と技術を込めたモノづくり

横浜ゴム(株)は基本理念に「心と技術を込めたモノづくりにより、幸せと豊かさに貢献します」と掲げている。同事業所での技能職研修もこの理念に沿って、自分(個)の生産活動を示すことができ、さらに組織の企業活動に貢献できる人材を継続的に育て、増やすこと(人づくりの連鎖)をめざしている。生産現場にて、「めざすところ」を作業の目的に落とし込むには、その理屈(現場のなぜ)を理解して、現場のカイゼン意欲とコミュニケーションを活かし行動(生産活動)できるメンバーを育てることである。階層別研修で「身代わり紹介(対話力)」や「なぜなぜ分析(現場の改善)」を実施、グループ討議で全員が発言する機会を設け、答えより解答を導いた経過を重視している。研修で他工場の見学会が改善につながっているとのこと。また、監督者実践研修では、年 12 回 6 工場持ち回りで現場のムダ取り研修を実施している。



### 研修担当の役割と想い

事例発表者中原氏より「研修担当は教材・教え方が自分のものになって、はじめて研修生の理解度が見えてくる。研修生と対話出来る(同じ)目線で接することや理解力の低いメンバーに合わせ進める。」などご経験から来る想いを述べられた。

事例発表の後、製造所の概要について山野工場長より説明があり、コンベヤベルト・土木商品(免震品)・海洋商品などゴム高分子技術を活かした製品の生産現場を見学。見学中にその場その場で質問を受けるなど各現場の責任者より説明をいただいた。現場作業員をはじめ社員皆さんが見学者に挨拶する姿が好印象であった。